

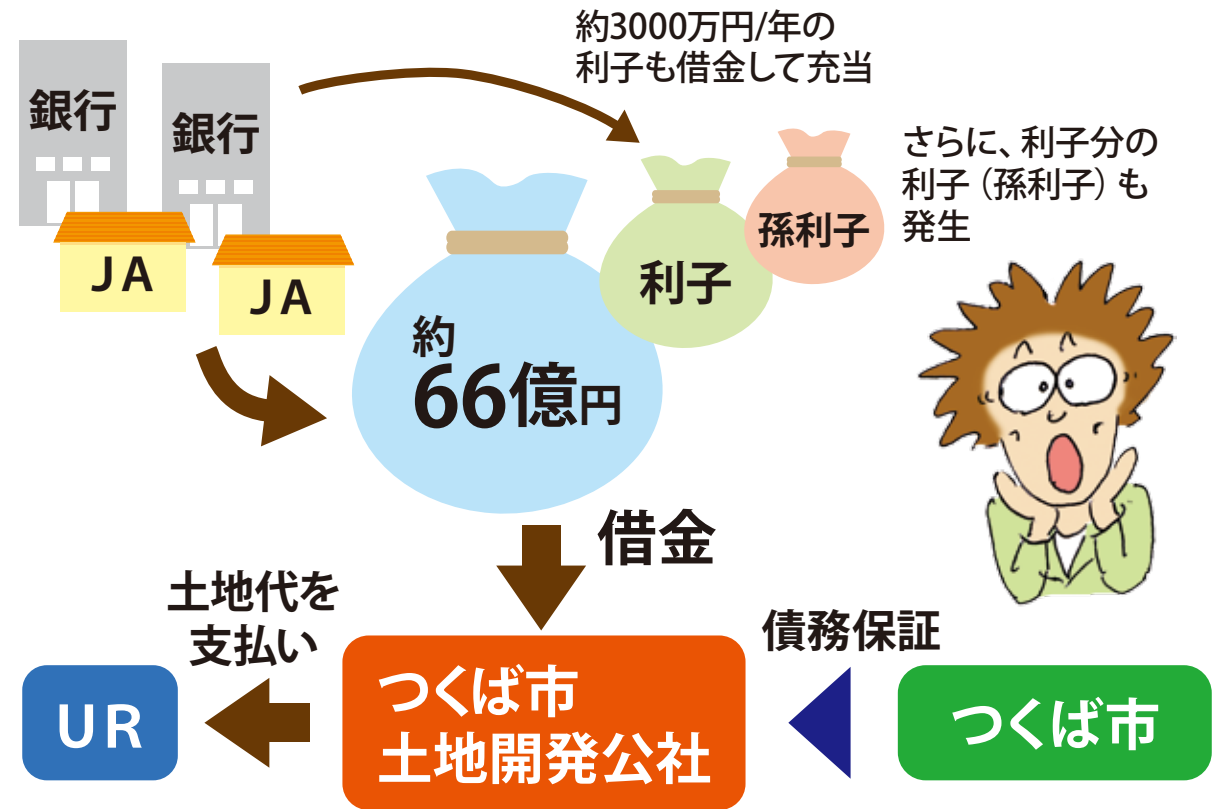
約46ha 66億円の用地のその後…

白紙撤回になり目的を失った46haの土地は、今どうなっているのか。計画が白紙撤回されたため、購入する目的を失い、毎年3000万円以上の利子が発生しています。さらに、その利子分も借金している状態です。土地の購入は慎重に行われるべきでした。

基本構想づくりも始めていない時期に、URから「2014年度内に買い取る」よう迫られ、市民の意向調査もせず、一部の要望をもとに366億円もの巨額事業に仕立て上げ、土地購入の議決を迫った市原市政。次期市長選に出馬しないため、残された土地と借金の問題は市民に押しつけられることとなります。深刻な問題のある行政運営が露呈しました。轍を二度と踏まないためにも全貌を明らかにすべきと考えます。

一方、陸上競技場や大きな大会ができるアリーナの要望もあります。今後は、「いつ、どこに、どのような施設が必要か。その維持管理や運営はどう組み立てるのか。財政面でも無理はないか」など、費用対効果、つくば市全体の財政計画について十分に調査・審議し、必要性も含めて検討を行うべきです。皆様のご意見をお待ちしています！

URの売却条件は「一括買収」でしたが、つくば市は補助金申請に合わせて段階的に土地を購入したいと考えていました。そこで、一旦「つくば市土地開発公社」が銀行等から66億円を借金し、一括で買い取らせ、市はその債務保証をする形で2014年3月議会に提案し、1票差で可決しました。



住民投票と検証を活かしたまちづくりを！

市民の声の代弁者として

つくば市議会議員 **北口 ひとみ**

総合運動公園事業については、財政・補助金制度・不動産鑑定・入札・他自治体の現状・事業の進め方など、これまでになく多岐にわたり調査研究してきました。

また、住民投票を経て「市民の声が届く市政」のあり方や重要性を痛感しています。

これらの経験を活かし、市民の代理をする代弁者として声を届けるとともに、行政の見張り番としても、しっかりと議員活動を行わなければ！と心新たにしています。



議会運営委員会委員、総務常任委員会副委員長
道路交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会委員
総合運動公園整備特別委員会委員
総合運動公園に関する調査特別委員会委員

民意をもっと反映する市政に

つくば市議会議員 **宇野 のぶこ**

調査委員会では、事業の進め方の問題を特に追及しました。これまでは行政が先に内部でほとんど決めていて、その後でいかにも市民の意見を反映するかのように会議を開き、パブリックコメントを行っていました。今回の調査委員会を通して、それでは市民の意見を聞いたことにはならない、という点は全議員の共通認識になったと思います。民意をもっと反映する市政にするために、市民参加と情報公開のしくみづくりに取り組んでいきます。



文教福祉常任委員会副委員長
議会活性化推進特別委員会委員
安全・安心調査特別委員会副委員長
総合運動公園に関する調査特別委員会委員

市民の力で、次の改革へ

つくば市議会議員 **皆川 ゆきえ**

市民意志から遠くかけ離れた巨大な運動公園計画が知らぬ間に進められていました。土地購入では、議会も二分し、1票差で市長の暴走を援護した結果になりました。

しかし、昨夏、私たち市民の手により、この暴走をストップさせ、改革への大きな一歩を踏み出すことができました。

この秋は市政改革へ転ずる大きなチャンスです。再び市民の力を結集させ、市長・議会を一新し、市民参加のつくば市を創りましょう。



環境経済常任委員会委員
議会報編集委員
観光開発推進特別委員会副委員長
総合運動公園に関する調査特別委員会委員